

左岸地山取付道路中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0-10.00	482.098	520.754
No.0-15.00	477.122	520.272
No.0-21.82	470.334	519.615

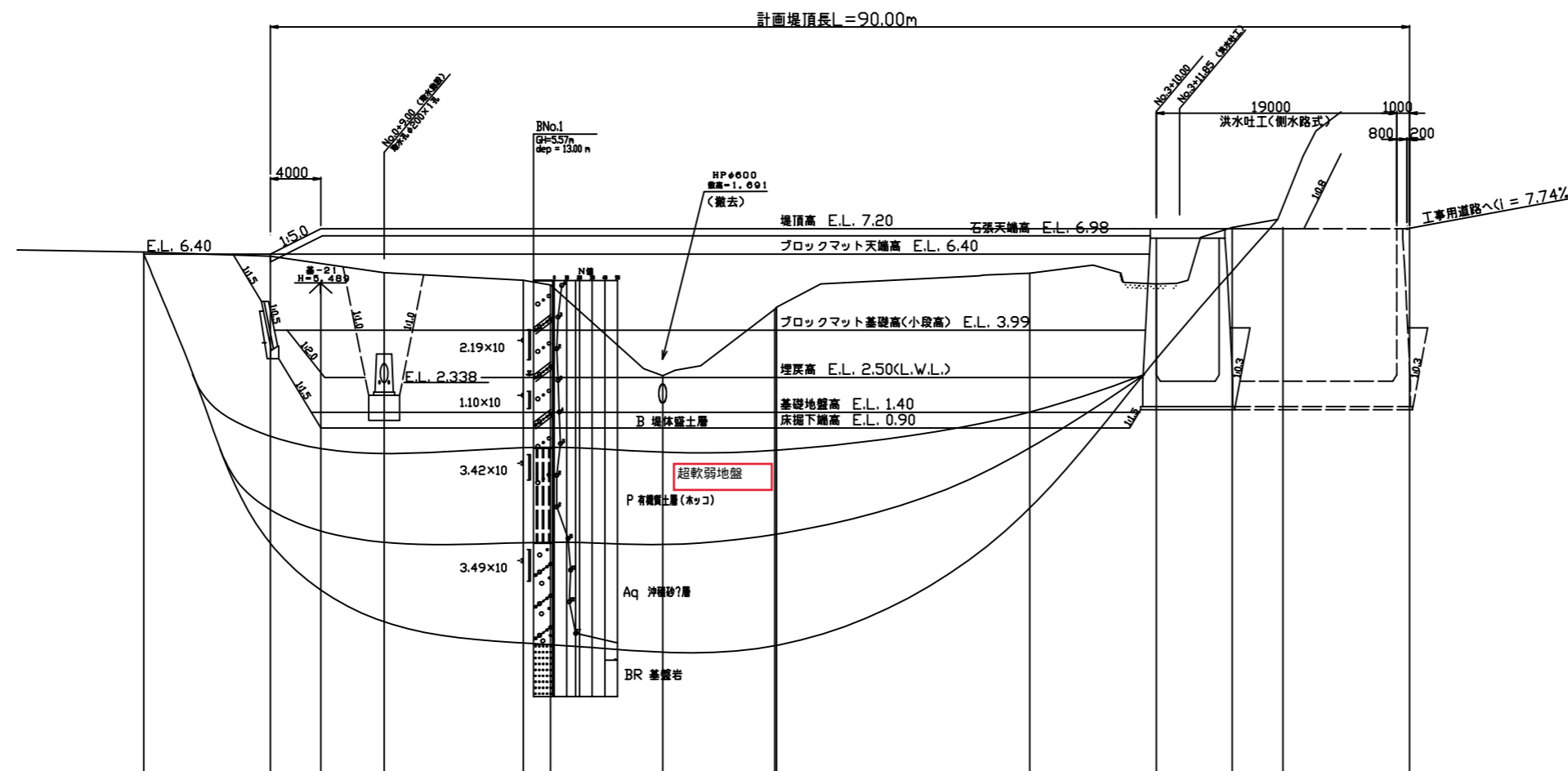
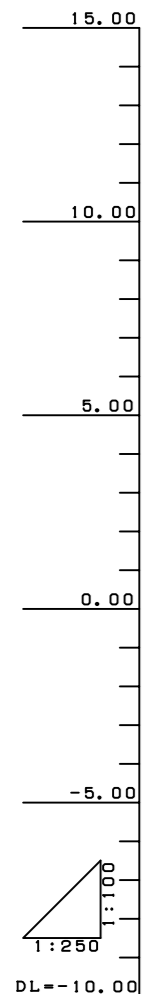
堤体中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0	492.051	521.718
I.P.1	496.445	552.453
No.3+11.85	491.907	593.098
No.3+16.00	491.446	597.222

備考

1. 既設取水施設及び仮配水管（HPφ600）は完全に撤去すること
2. 橋梁の始点部は（No.3近傍）は現場打水路工で補修して、既設橋梁に滑らかに摺付とする。

図面の名称		図面番号
平面図 S=1:250		1
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製原		
図複		
事業所長	事業所主任	
主管課長	主管課主任	



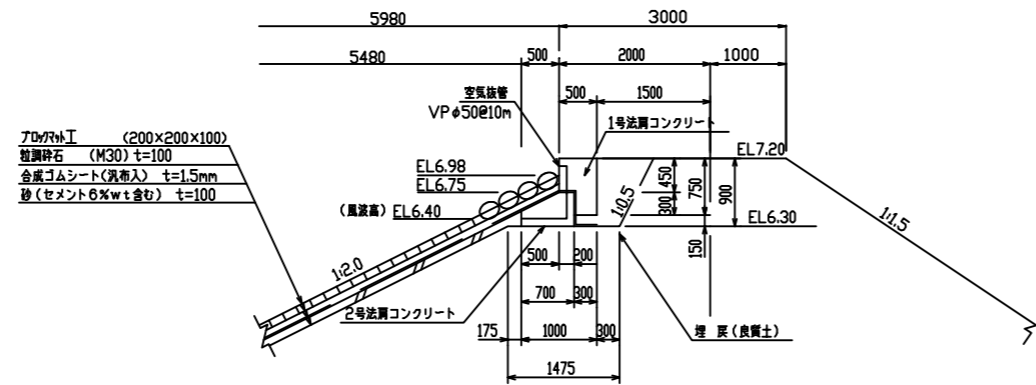
勾配	Level (6.40) Level (6.40) Level (7.20) Level (7.20)												
盛土			0.070	1.392	1.632	1.774	4.643	2.481	1.405	1.745			
切土	0.066										0.042		
計画高	6.40	6.40	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20
地盤高	6.400	6.380	5.806	5.566	5.450	2.557	4.916	5.795	5.435	7.242	0.000	0.000	0.000
追加距離	0.000	0.000	4.000	9.000	20.000	22.138	31.000	39.892	40.000	76.000	80.000	90.000	90.000
単距離	0.000	4.000	5.000	11.000	2.138	8.862	8.862	0.138	10.000	6.000	4.000	10.000	10.000
測点	-10.000	NO.0	+4.000	+9.000	NO.1	NO.1	+11.000	NO.2	NO.3	+10.000	+16.000	NO.4	+10.000
曲線	IP.1 1A=14°30'20"R=70.000 CL=17.7247L=8.910 SL=0.555												

図面の名称	図面番号
縦断面図 v=1:100 H=1:250	2
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	原図 複写
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

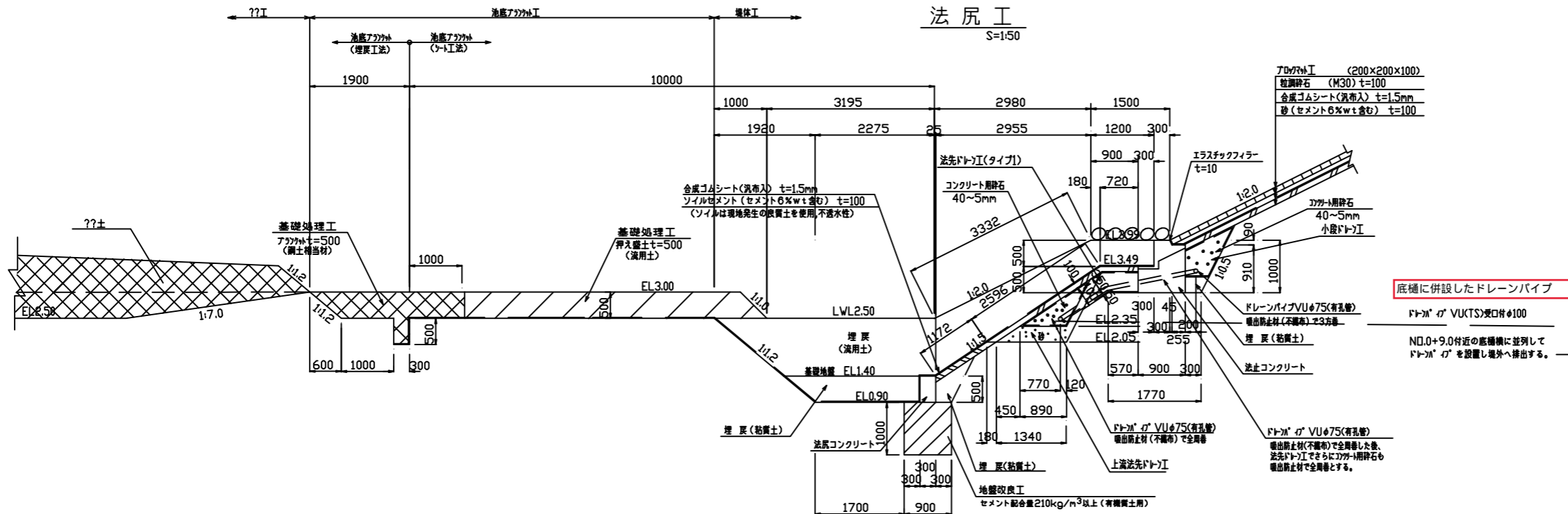


# 標準断面図 (2/2)

## 法肩工 S=1:50



## 法尻工 S=1:50



備考: 1・法尻アサト下層は不透水性層(若輩が望ましい)まで埋入をする。  
現場条件によって必要があれば置換土又は地盤改良を行なうものとする。  
2・小径下層の埋入盛土は現地発生土(良質のれき質土)を流用する。

Y1地材(砂)・・・海砂1.0m<sup>3</sup>に対しw187.5kg(6%)透水性  
Y1地材(発生良質土)・土留場土1.0m<sup>3</sup>に対しw108.0kg(6%)不透水性

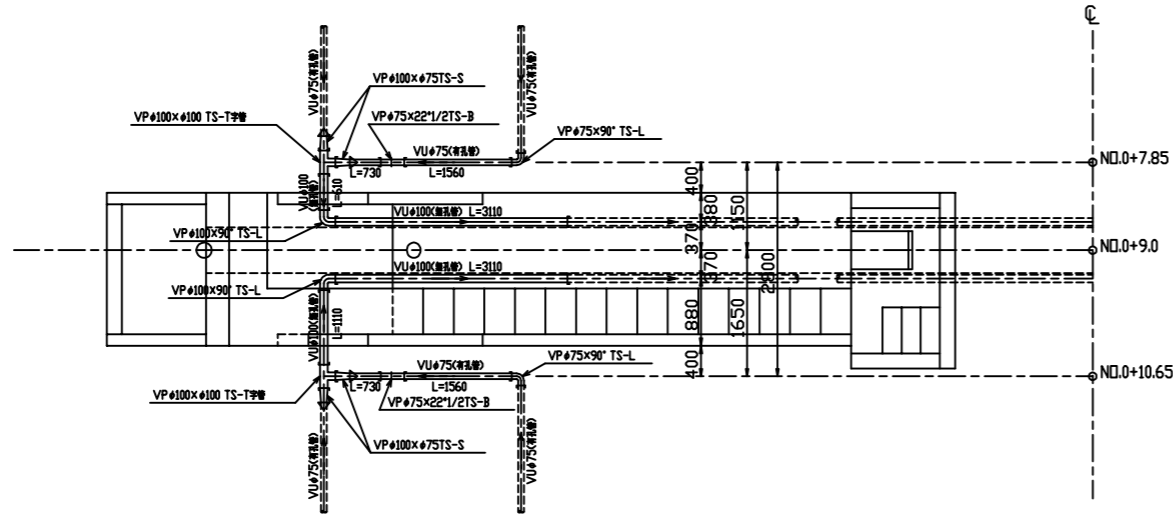
図面の名称		図面番号
標準断面図(2/2)		4
縮尺		1:50
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図		
原図		
図様		

# ドレーン工構造図

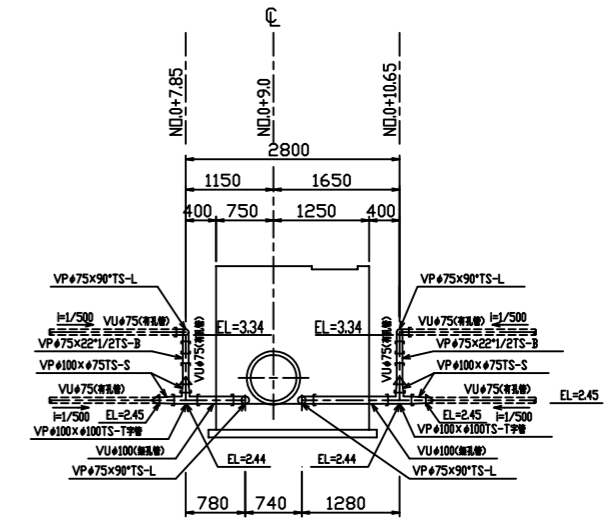
S=1:50

## 法先ドレーン工

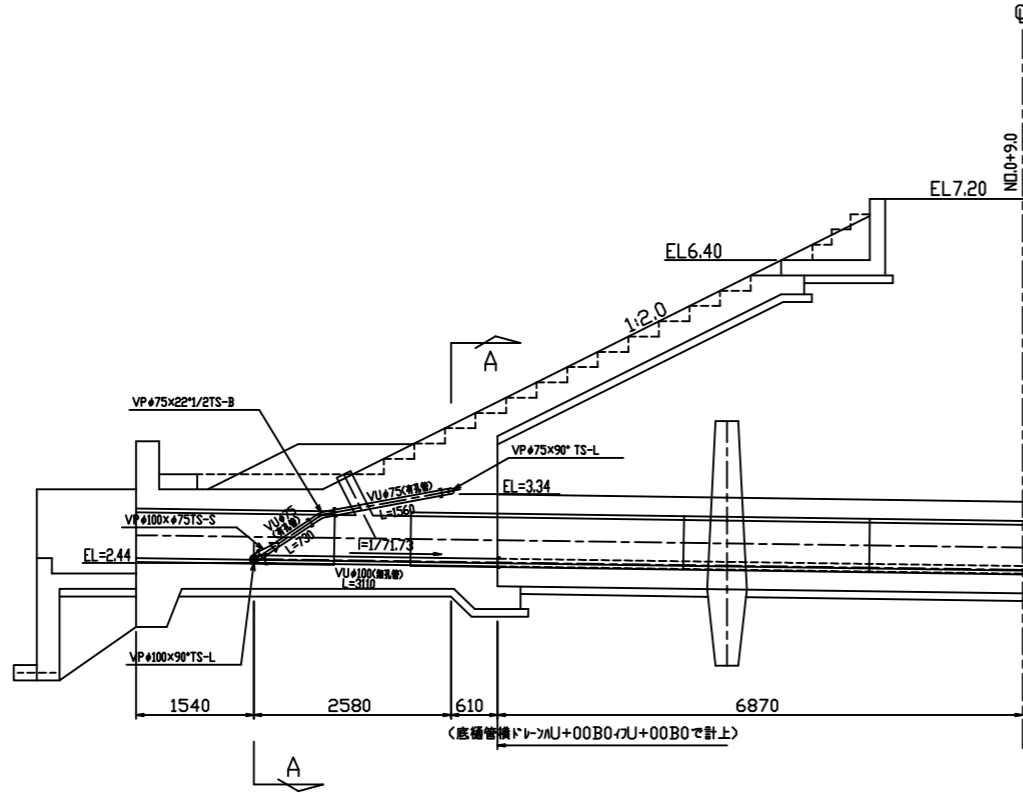
(ドレーンパイプ管割図)  
タイプ1



## A-A矢視図



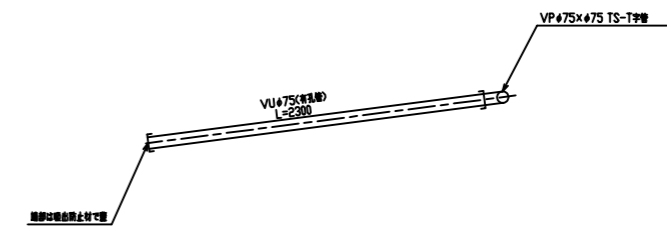
## (ドレーンパイプ詳細図) タイプ1



DL=0.000

## (ドレーンパイプ詳細図) タイプ2

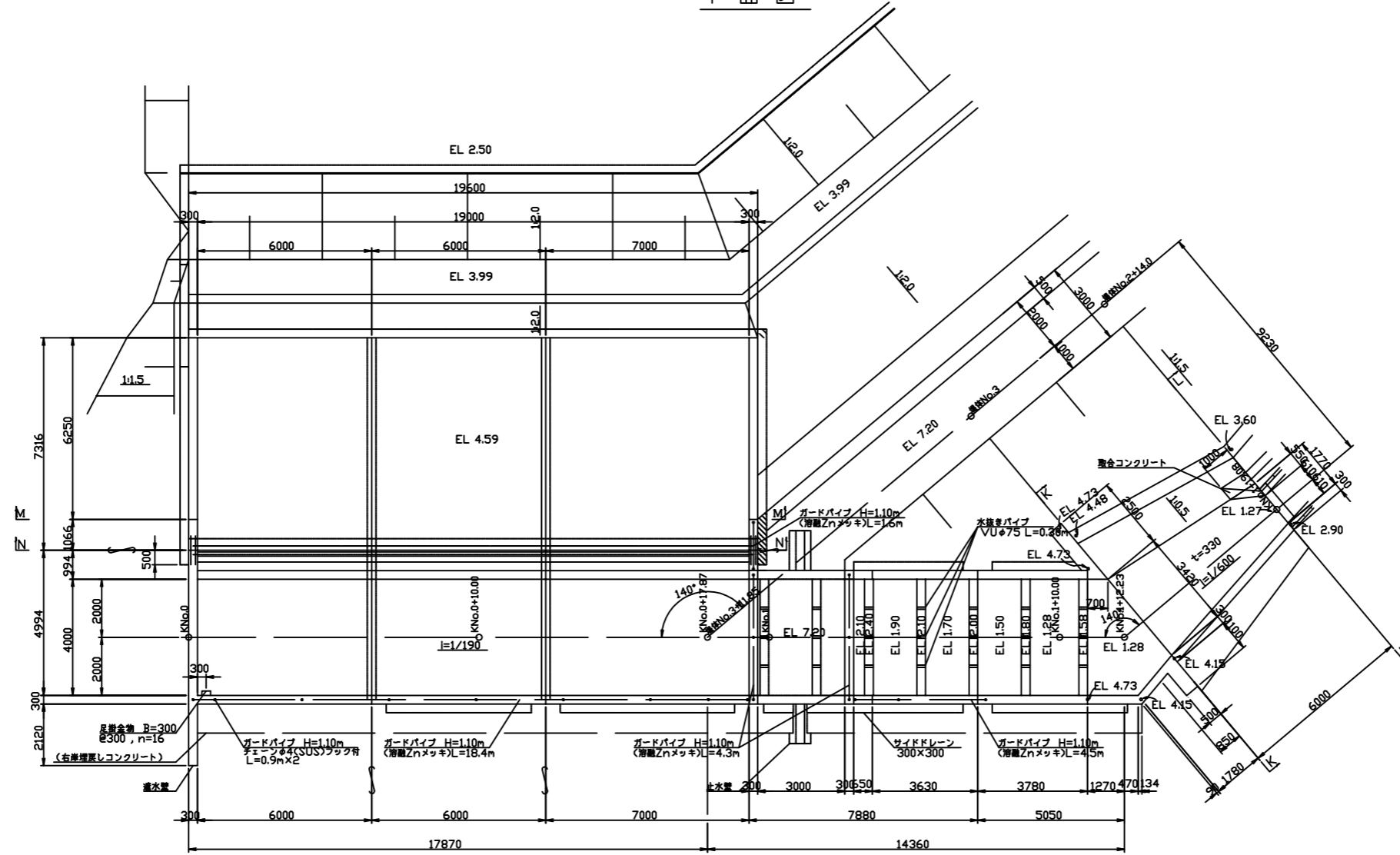
S=1:25



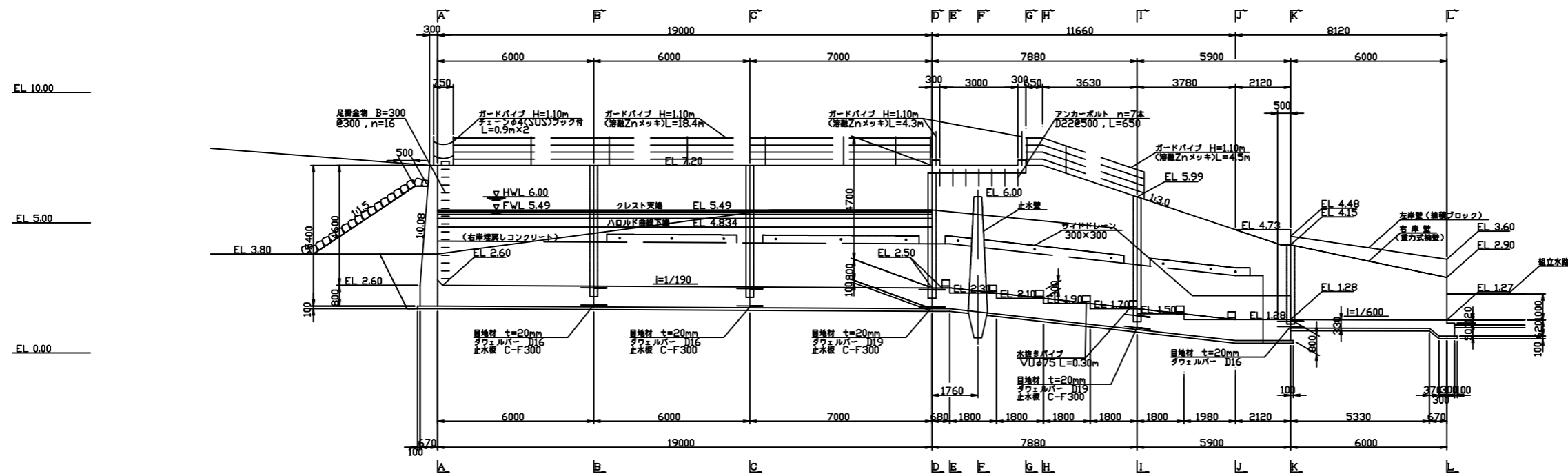
図面の名称 図面番号	
ドレーン工構造図 S=1:50	21
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	
原図	
図複製	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

# 洪水吐工構造図(1/5) S=1:100

## 平面図



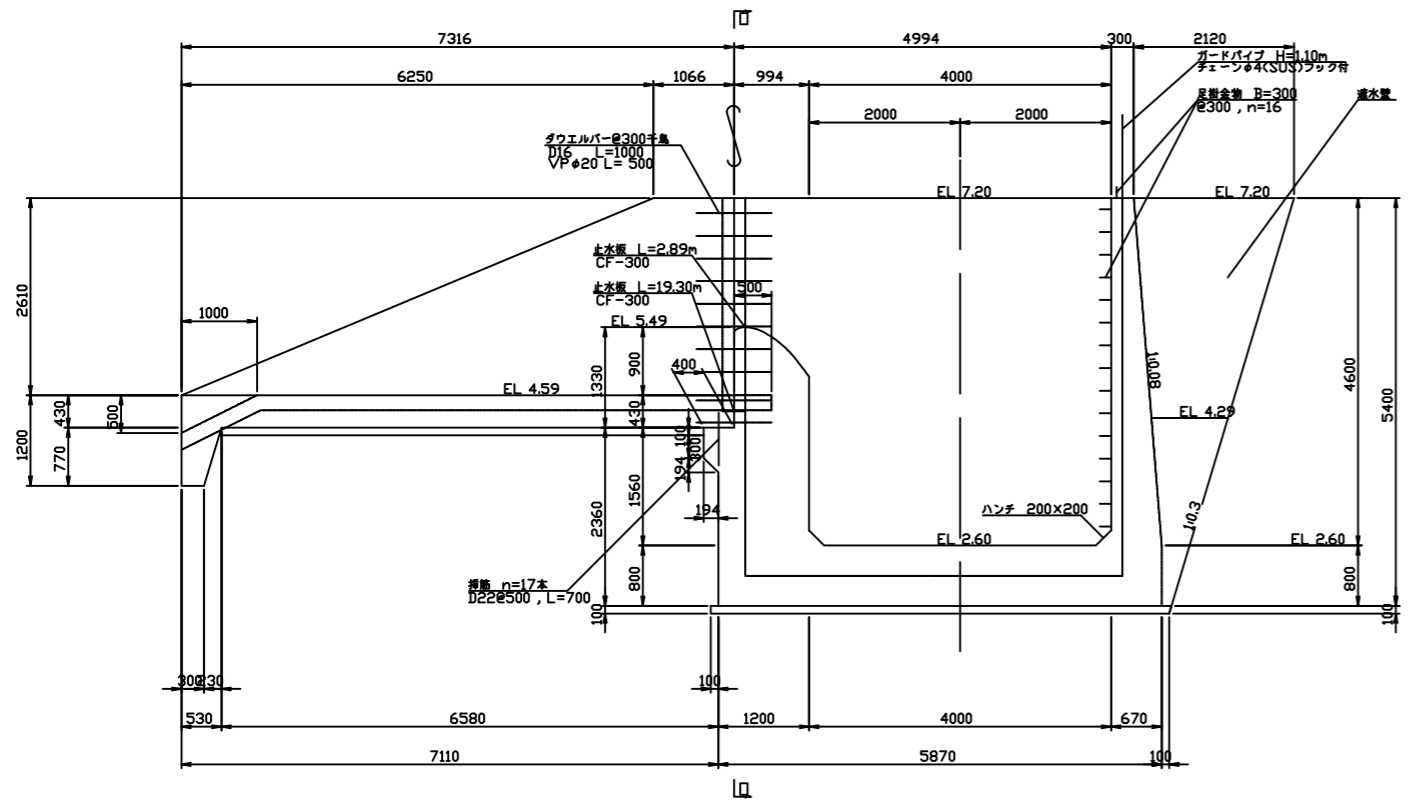
## 縦断面図



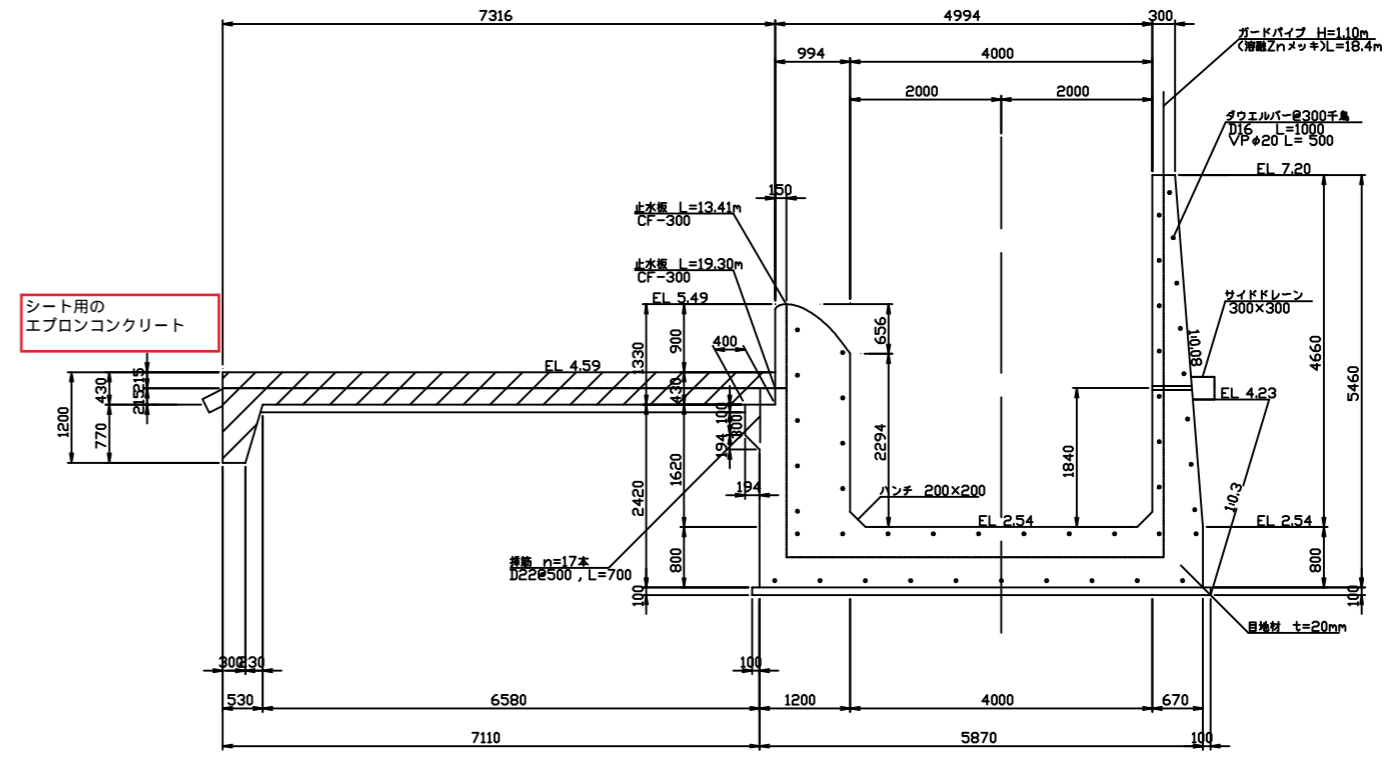
図面の名称		図面番号
洪水吐工構造図(1/5)		22
縮尺 S=1:100		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図複写		

洪水吐工構造図(2/5) S=1:50

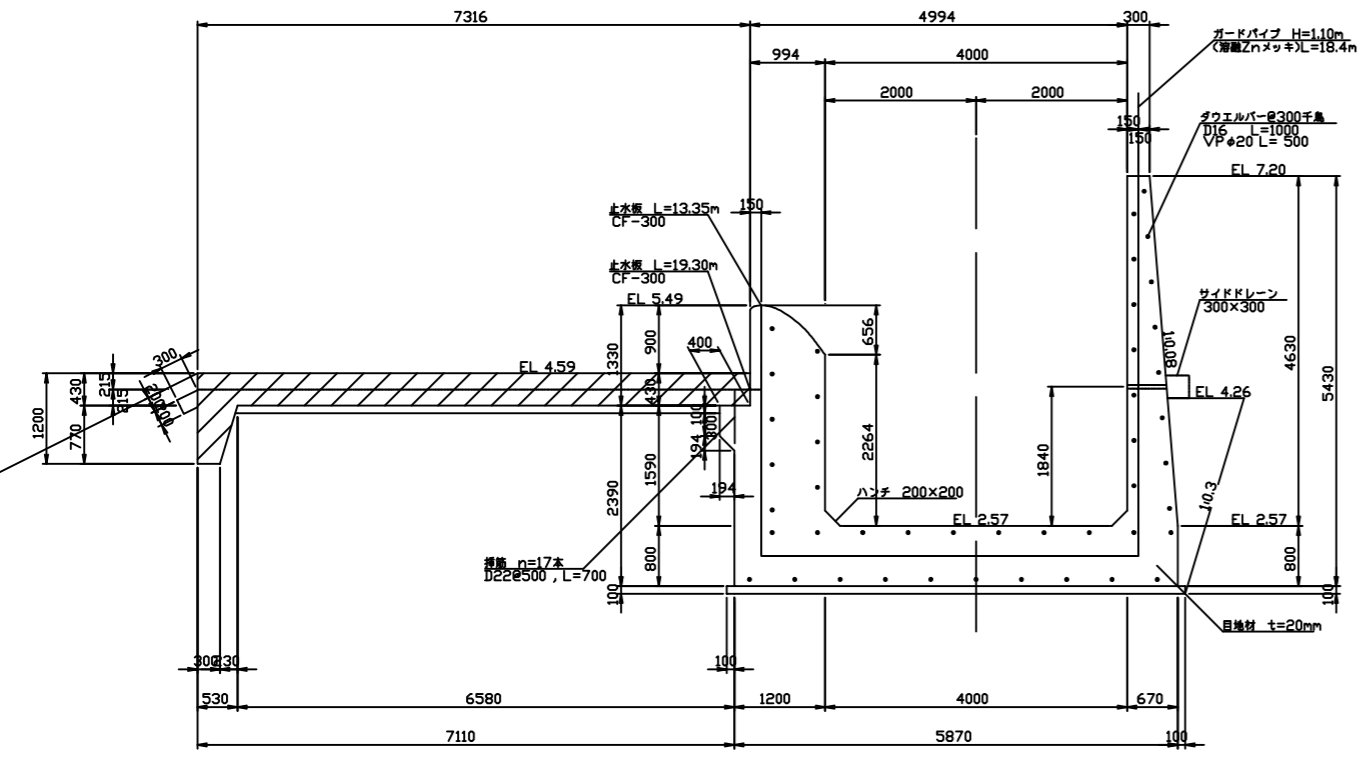
A-A(+)



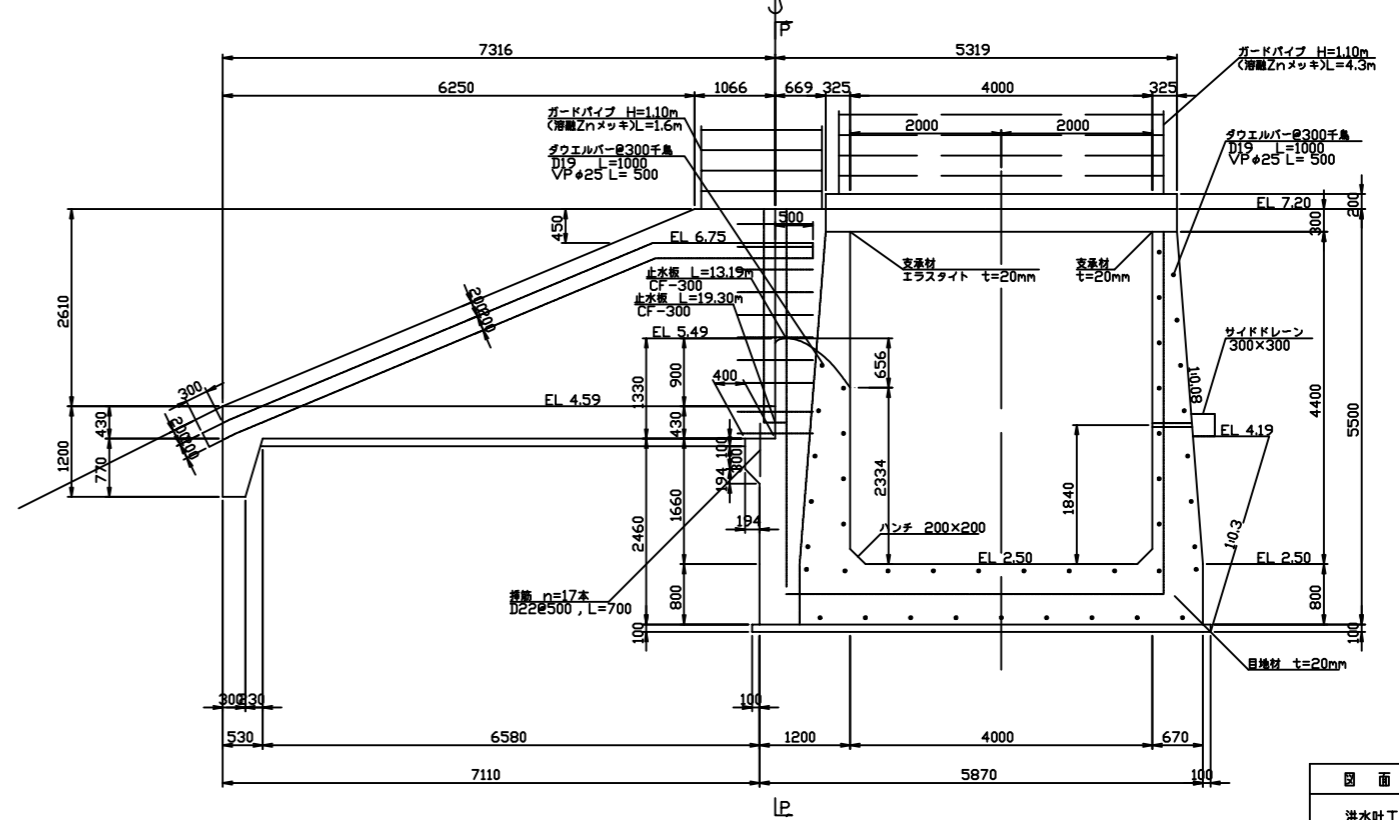
C-C



B-B



D-D



図面の名称	図面番号
洪水吐工構造図(2/5)	23
縮尺	S=1:50
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

備考: 止水板接続部は特に注意して施工のこと。

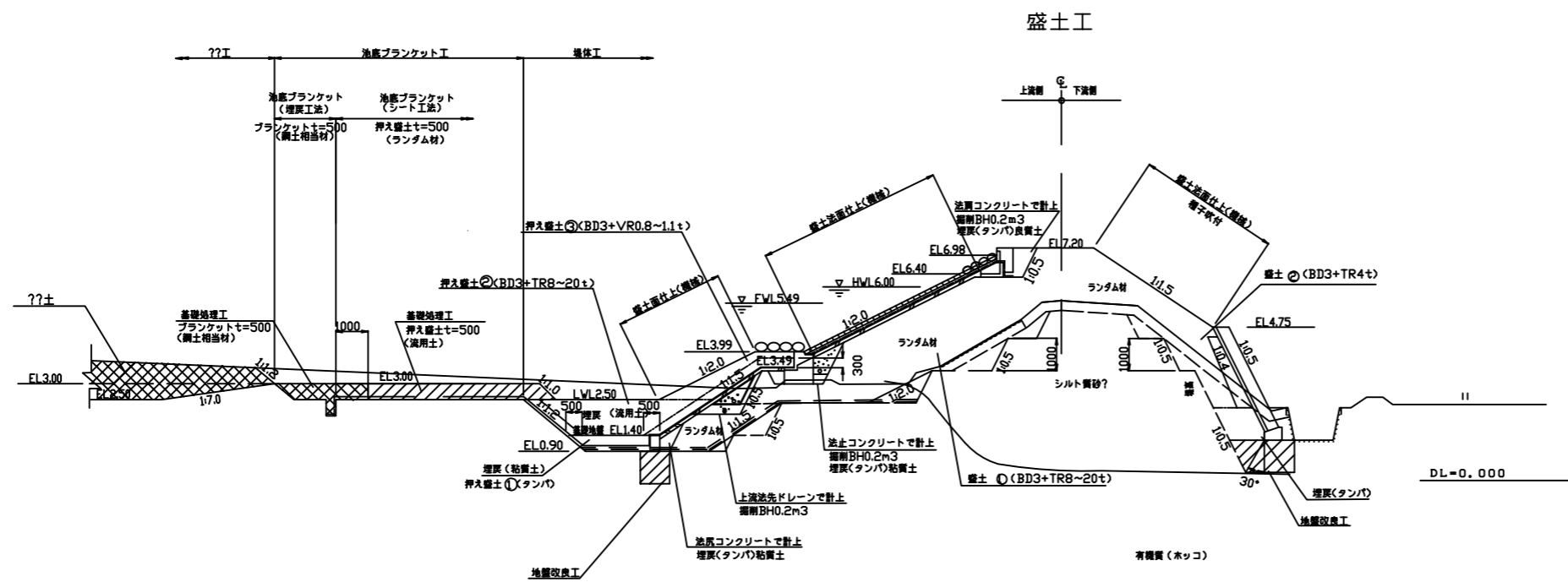
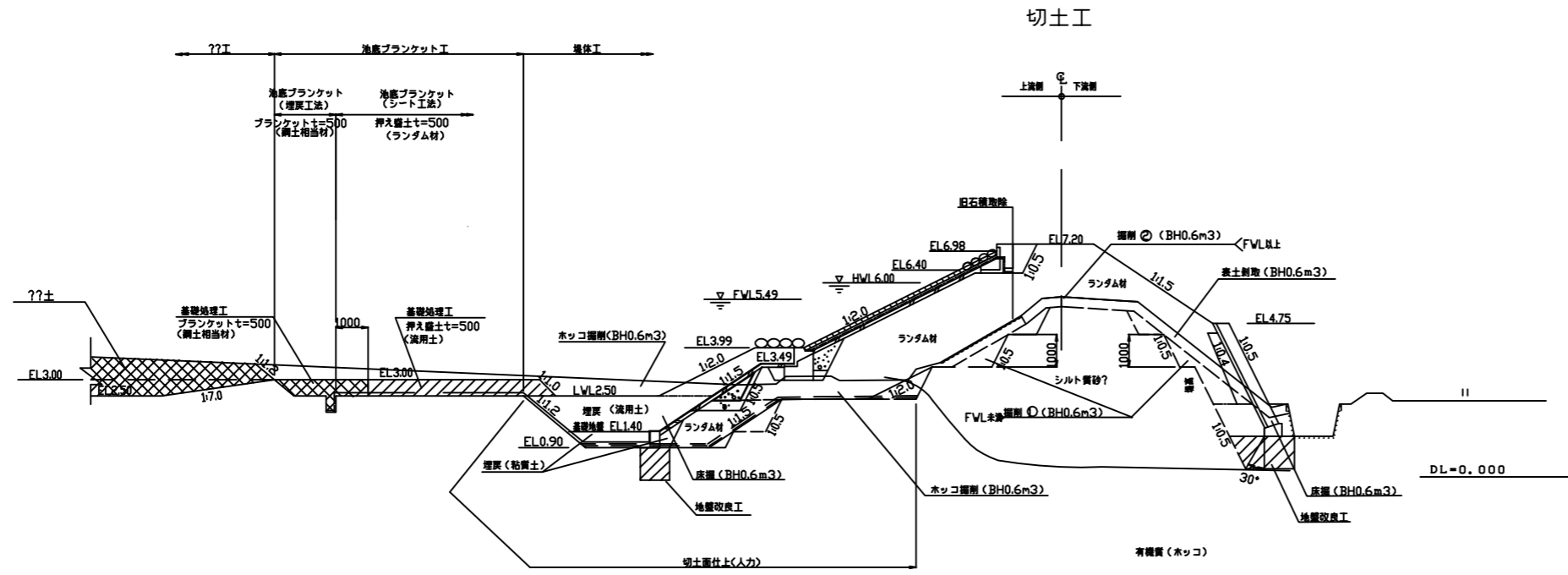






# 堤体土工区分図

S=1:100

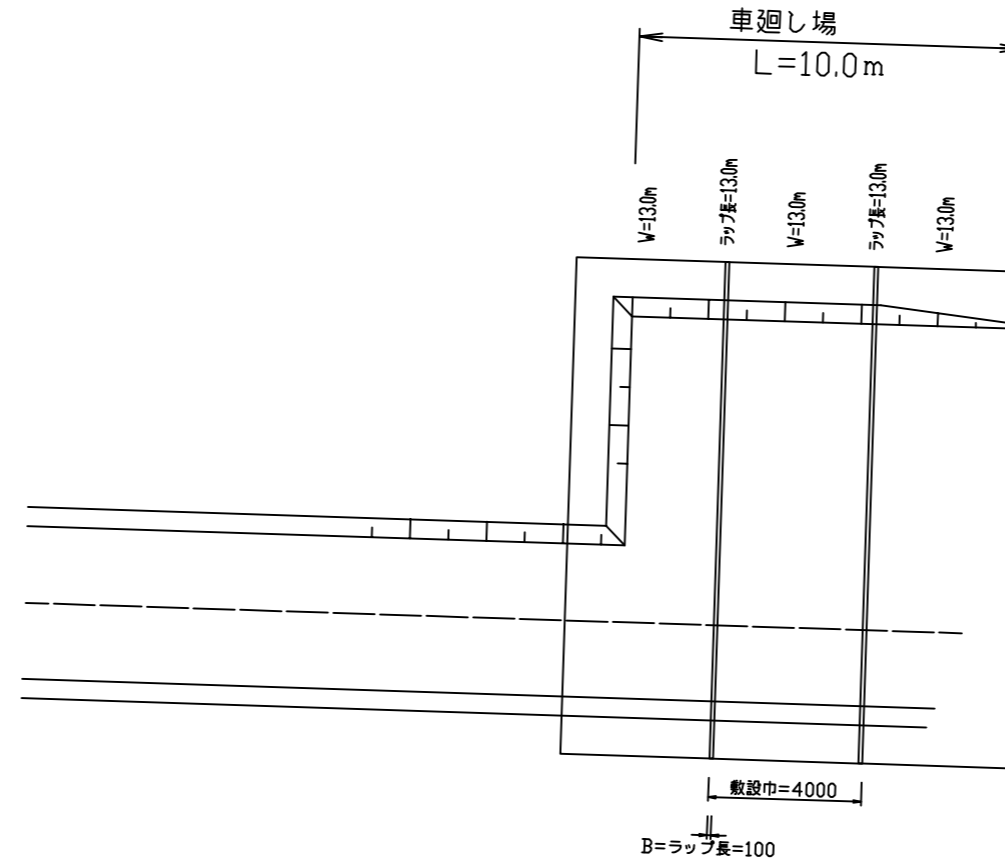


図面の名称 図面番号	
堤体土工区分図 S=1:100	5
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	
原図	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

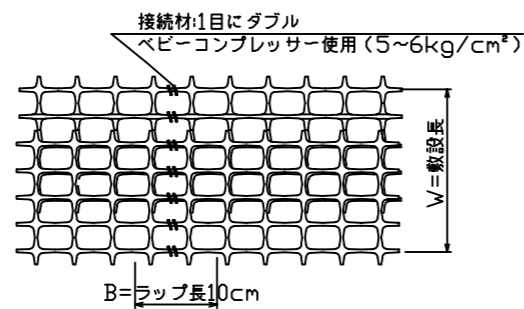
車廻し部  
ジオグリッド及び不織布 平面敷設図

縮尺 1:100

ハイブリッド工法  
不等沈下を防止,等沈下にするジオグリッドを採用。



ジオグリッド接続詳細



ジオグリッド製品基準強度17kN/m<sup>2</sup>品

39.0 m (敷設長) × 4.0 m (敷設巾) = 156.0 m (敷設数量)  
656.0 m<sup>2</sup> (敷設数量) × 1.03(LDSS) = 160.7 m (LDSS数量)

ジオグリッド接続材個数

26.0 m (ラップ長TOTAL) × 79 (8/m LDSS10%@) = 2054 巻

※ラップ巾は全て10cm以上とする。 合計 2054 巻

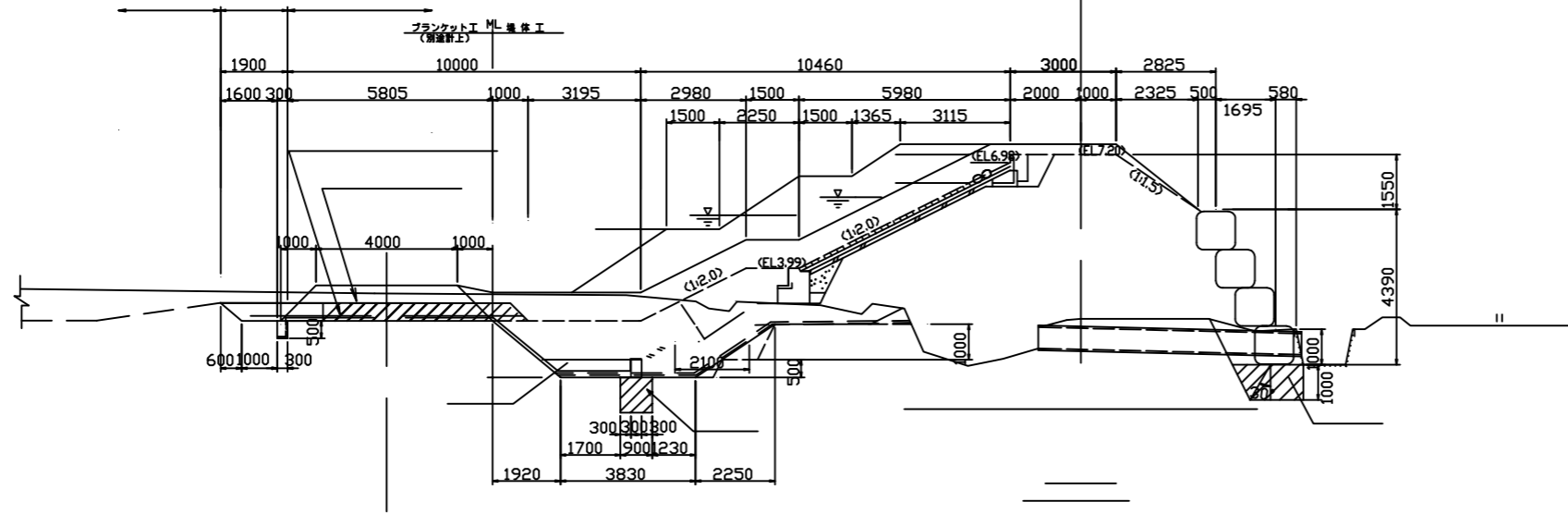
P.P製不織布t=3mm<sup>2</sup>品

ジオグリッドと同面積 = 156.0 m (敷設数量)  
156.0 m (敷設数量) × 1.05(LDSS) = 163.8 m (LDSS数量)

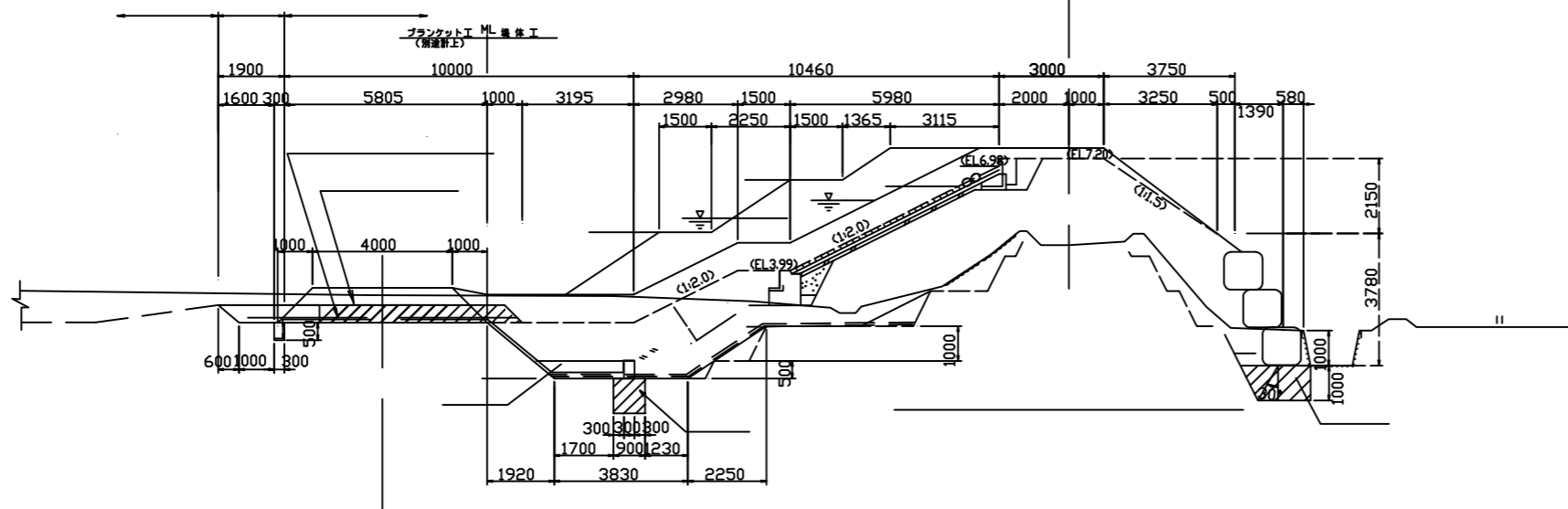
数量表

項目	単位	数量
ジオグリッド17kN/m <sup>2</sup> 品	m <sup>2</sup>	160.7
接続材	巻	2054
P.P製不織布t=3mm <sup>2</sup> 品	m <sup>2</sup>	163.8

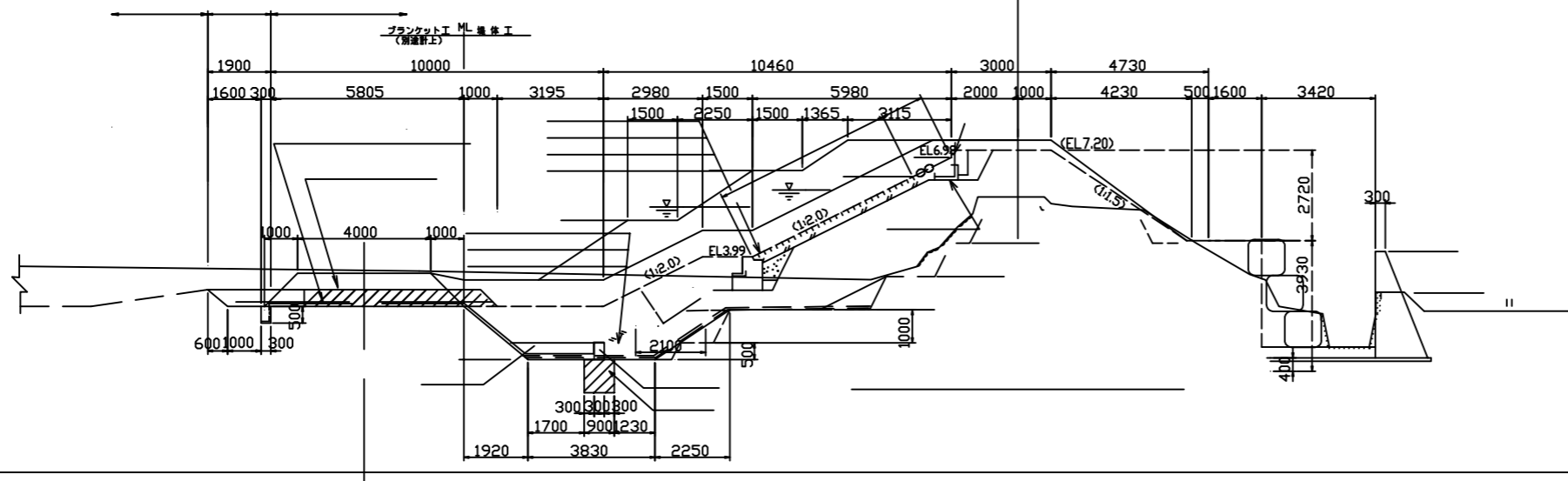
図面の名称		図面番号
ジオテクスタイル詳細図(5/6)		67
縮尺 1:100		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	



余盛工				
測点 No.1(+11.00)				
名称	単位	上流側数量	下流側数量	備考
盛土(余盛)沈下分	m <sup>2</sup>	13.2	0.6	
盛土?	m <sup>2</sup>	45.6	15.4	
盛切工	m <sup>2</sup>	0.8	-	
盛土(余盛)積土分	m <sup>2</sup>	11.8	0	



余盛工				
測点 No.2				
名称	単位	上流側数量	下流側数量	備考
盛土(余盛)沈下分	m <sup>2</sup>	13.2	0.9	
盛土?	m <sup>2</sup>	35.9	12.5	
盛切工	m <sup>2</sup>	1.8	0.5	
盛土(余盛)積土分	m <sup>2</sup>	11.8	0	



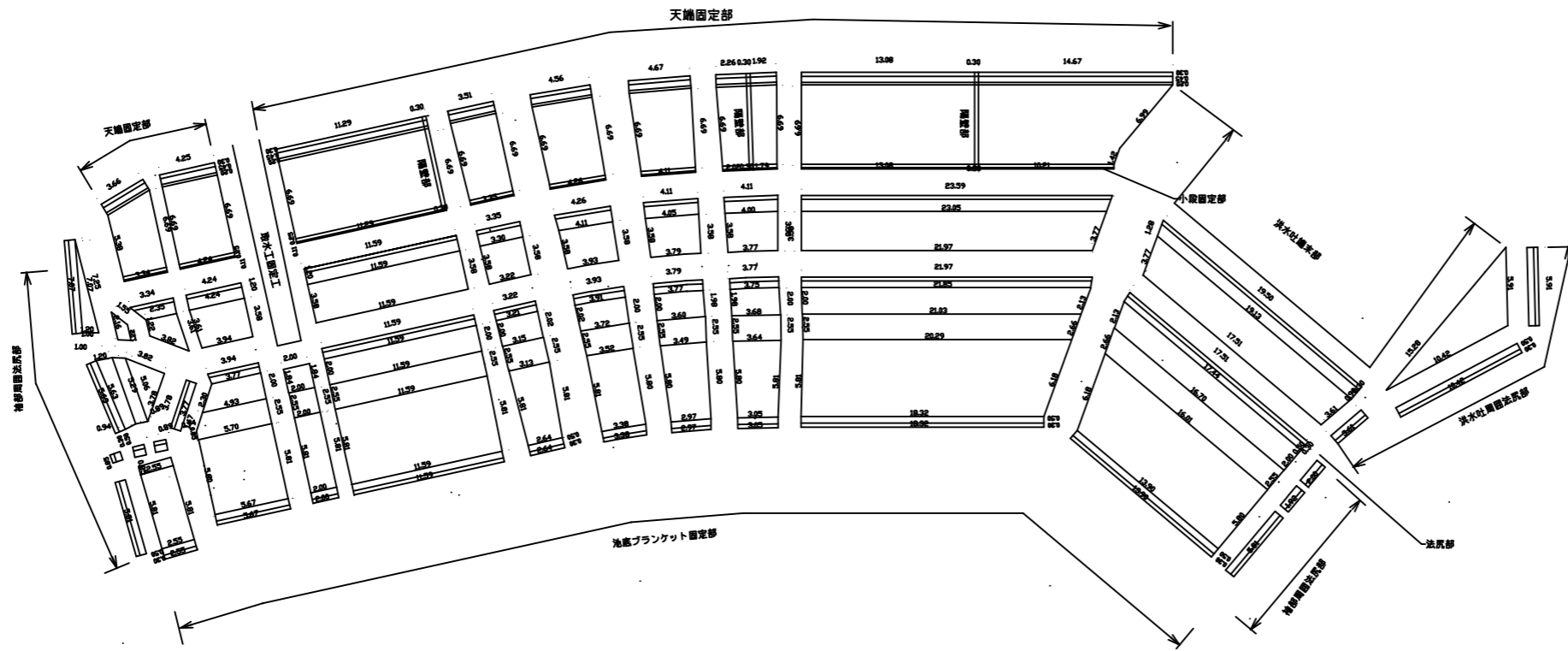
余盛工				
測点 No.3				
名称	単位	上流側数量	下流側数量	備考
盛土(余盛)沈下分	m <sup>2</sup>	13.2	1.0	
盛土?	m <sup>2</sup>	35.0	7.8	
盛切工	m <sup>2</sup>	1.7	0.3	
盛土(余盛)積土分	m <sup>2</sup>	11.8	0	

備考:

1. 沈下量は上流法面で80cm、天端で30cmを想定しているのので、堤体工着工前に余盛り、事前に圧密沈下(約126日で95%圧密)をさせておくものとする。
2. 地盤改良は、セメント系固化材を用いる。現場の一軸圧縮強度(7日材令)  $q_u = 100 \text{ kN/m}^2$ 以上となる量(配合量210  $\text{kg/m}^3$ ;有機質土用)とする。但し、底桶基礎は  $q_u = 125 \text{ kN/m}^2$ 以上となる量とする。
3. 仮設道路工の下層にあるジオテキスタイル(最小覆土厚50cm)の下にある不織布(水抜シート)をゴムシート上面に移設・直付してランダム材によるゴムシート損傷を防ぐ。

図面の名称		図面番号
余盛工断面図(大型土の)X2/2		81
S=1:100		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製原図		
図複写		
事業所長	事業所主任	
主管課長	主管課主任	

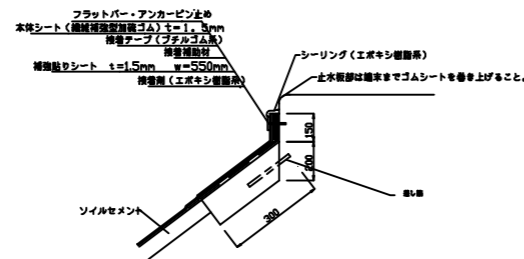
展開図



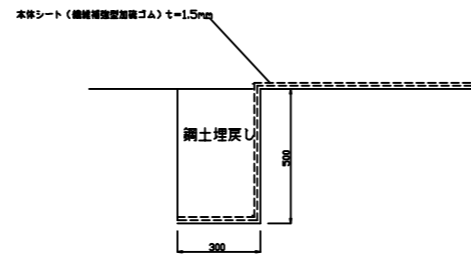
	延長(m)	フラットバー数 2.0m/本	アンカーピン数 @200(本)
池底ブラケット固定	(66.07)		
袖部周囲法尻部	(28.24)		
洪水吐周囲法尻部	19.94	10.00	10*11 110
隔壁部	20.07	11*2列 22.00	22*11 242
小段部固定部	59.59	30*2列 60.00	60*11 660
法尻部	(75.33)		
洪水吐端部	(43.55)		
取水口固定部	27.26	14.00	14*11 154
天端固定部	(64.77)		
合計	126.86h	106本	1166本

各部詳細図

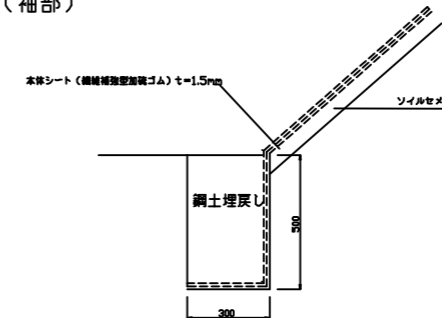
洪水吐端部シート納まり詳細図



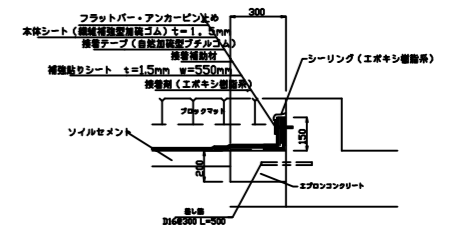
池底ブラケット固定部シート納まり詳細図 (袖部)



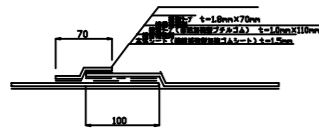
洪水吐周囲法尻部シート納まり詳細図



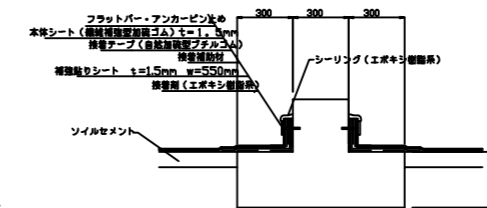
取水設備部シート収まり図



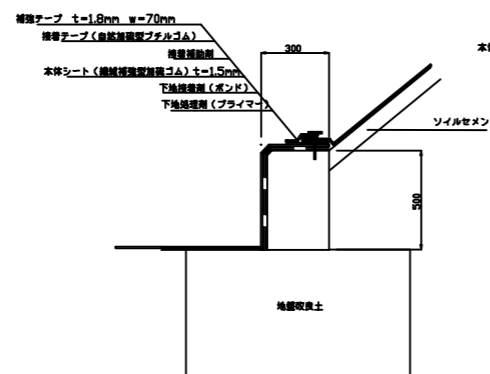
本体シート接合部詳細図



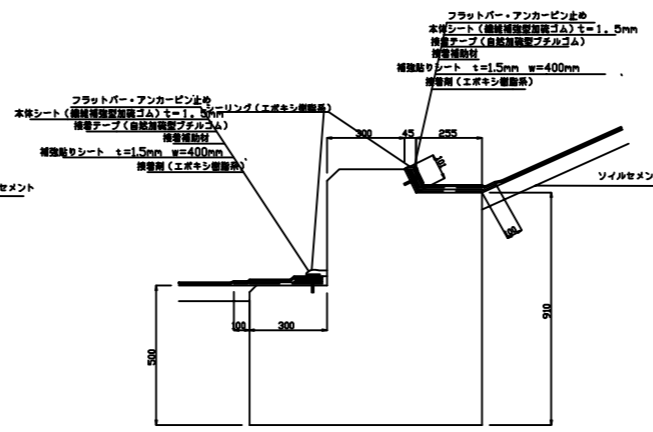
隔壁部納まり詳細図



法尻部シート納まり詳細図

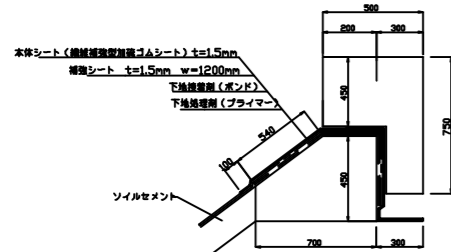


小段固定部シート納まり詳細図

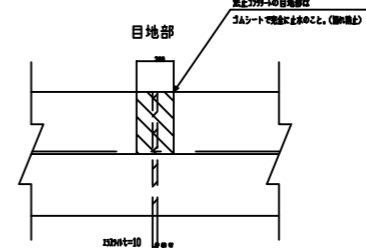


目地部あり注意して施工のこと。

天端固定部詳細図



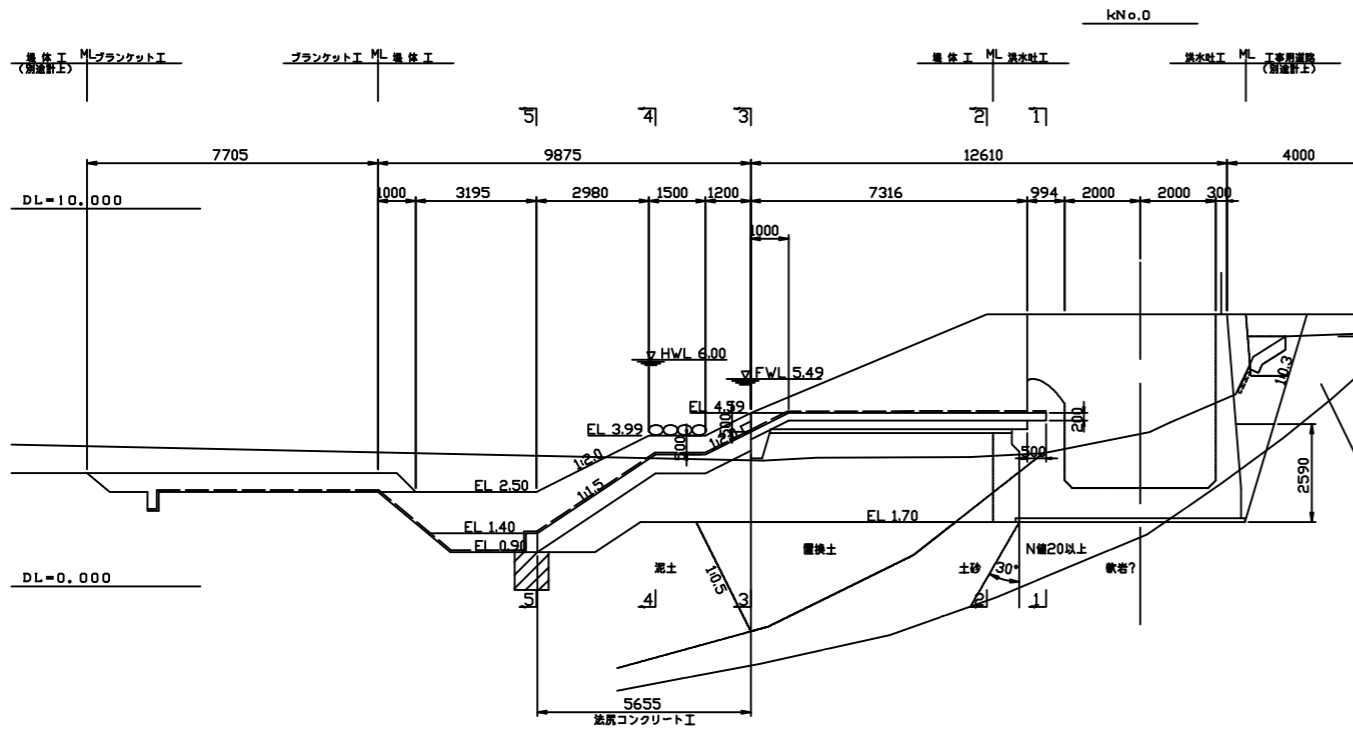
目地部



図面の名称	図面番号
ゴムシート工詳細図 (2/2)	15
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原	
図覆	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

# 洪水吐土工図 (1/2) S=1:100

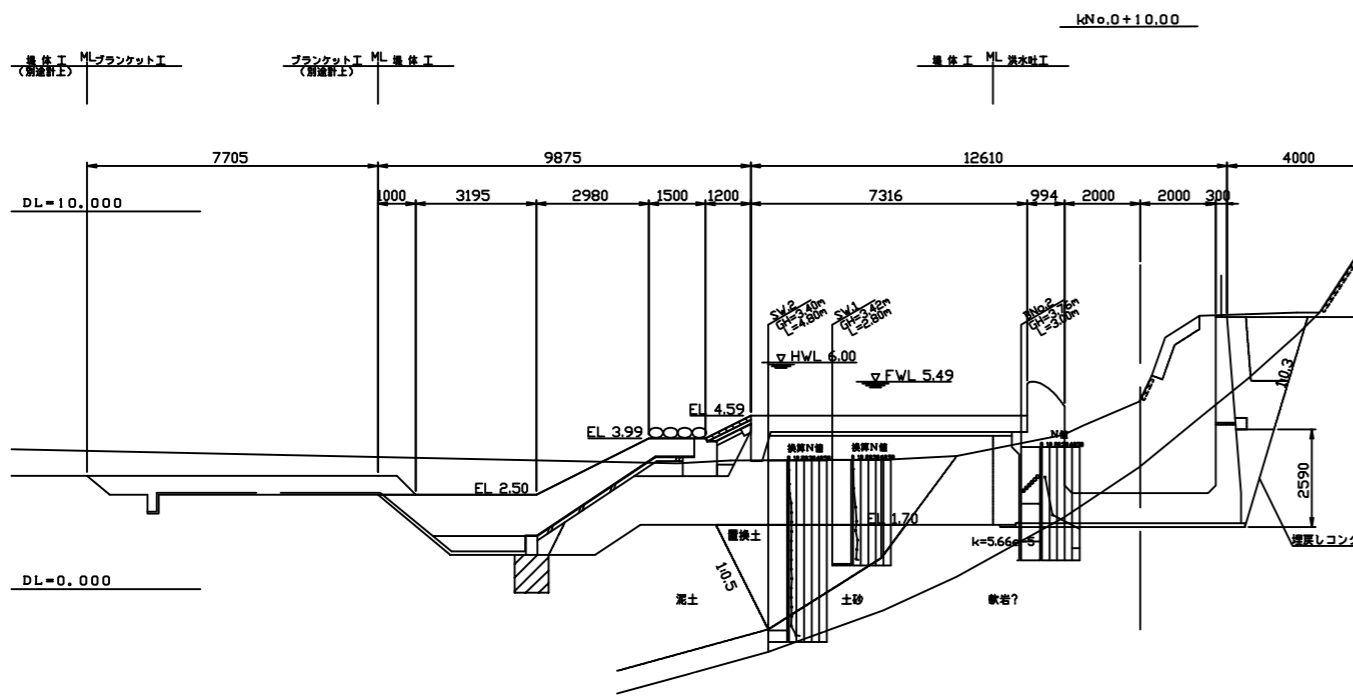
測点 kNo.0		名称	単位	数量	備考
切	土床	切土	m <sup>2</sup>	8.8	
		土床	m <sup>2</sup>	0.2	
工		名称	単位	数量	備考
切	土	切土	m <sup>2</sup>	2.8	
		切土	m <sup>2</sup>	0.5	0.8
		切土	m <sup>2</sup>	-	0.2
		切土	m	0.7	-



測点 No.4+9.30		名称	単位	数量	備考
切	土	切土	m <sup>2</sup>	37.9	
		切土	m <sup>2</sup>	-	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	0.4	FWL 5.49 未満
		切土	m <sup>2</sup>	-	FWL 5.49 未満
切	土	切土	m <sup>2</sup>	-	FWL 5.49 以上
		切土	m <sup>2</sup>	3.9	FWL 5.49 以上
切	土	切土	m	-	-
		切土	m	3.9	FWL 5.49 以上
切	土	切土	m <sup>2</sup>	-	-
		切土	m <sup>2</sup>	23.8	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	3.0	-
		切土	m <sup>2</sup>	4.3	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	1.7	-
		切土	m <sup>2</sup>	-	-
切	土	切土	m	-	-
		切土	m	4.6	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	10.6	-
		切土	m <sup>2</sup>	-	-

測点 kNo.0		名称	単位	数量
①	切土	m <sup>2</sup>	0.3	
②	切土	m <sup>2</sup>	-	
③	切土	m <sup>2</sup>	-	
④	切土	m <sup>2</sup>	0.6	
⑤	切土	m <sup>2</sup>	16.1	
⑥	切土	m <sup>2</sup>	2.0	
⑦	切土	m <sup>2</sup>	-	
⑧	切土	m	0.7	
⑨	切土	m <sup>2</sup>	4.1	
⑩	切土	m	-	
⑪	切土	m	2.4	
⑫	切土	m	4.0	
⑬	切土	m <sup>2</sup>	4.0	
⑭	切土	m <sup>2</sup>	4.0	
⑮	切土	m <sup>2</sup>	1.3	
⑯	切土	m	-	
⑰	切土	m	-	
⑱	切土	m	-	

測点 kNo.0+10.00		名称	単位	数量	備考
切	土床	切土	m <sup>2</sup>	8.8	
		土床	m <sup>2</sup>	0.2	
工		名称	単位	数量	備考
切	土	切土	m <sup>2</sup>	2.8	
		切土	m <sup>2</sup>	0.5	0.8
		切土	m <sup>2</sup>	-	0.2
		切土	m	0.7	-

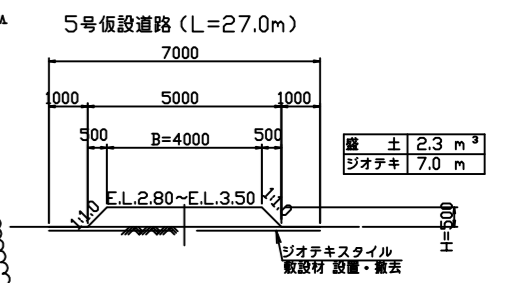
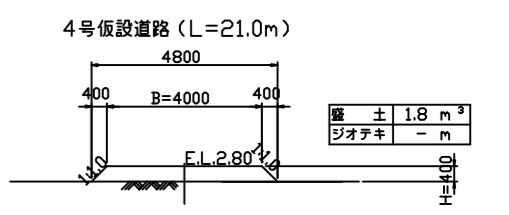
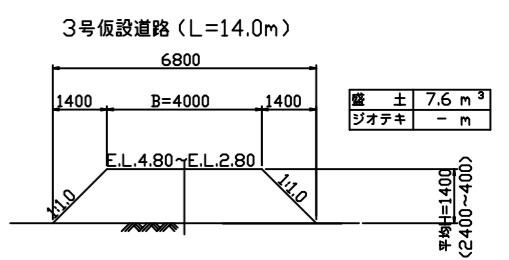
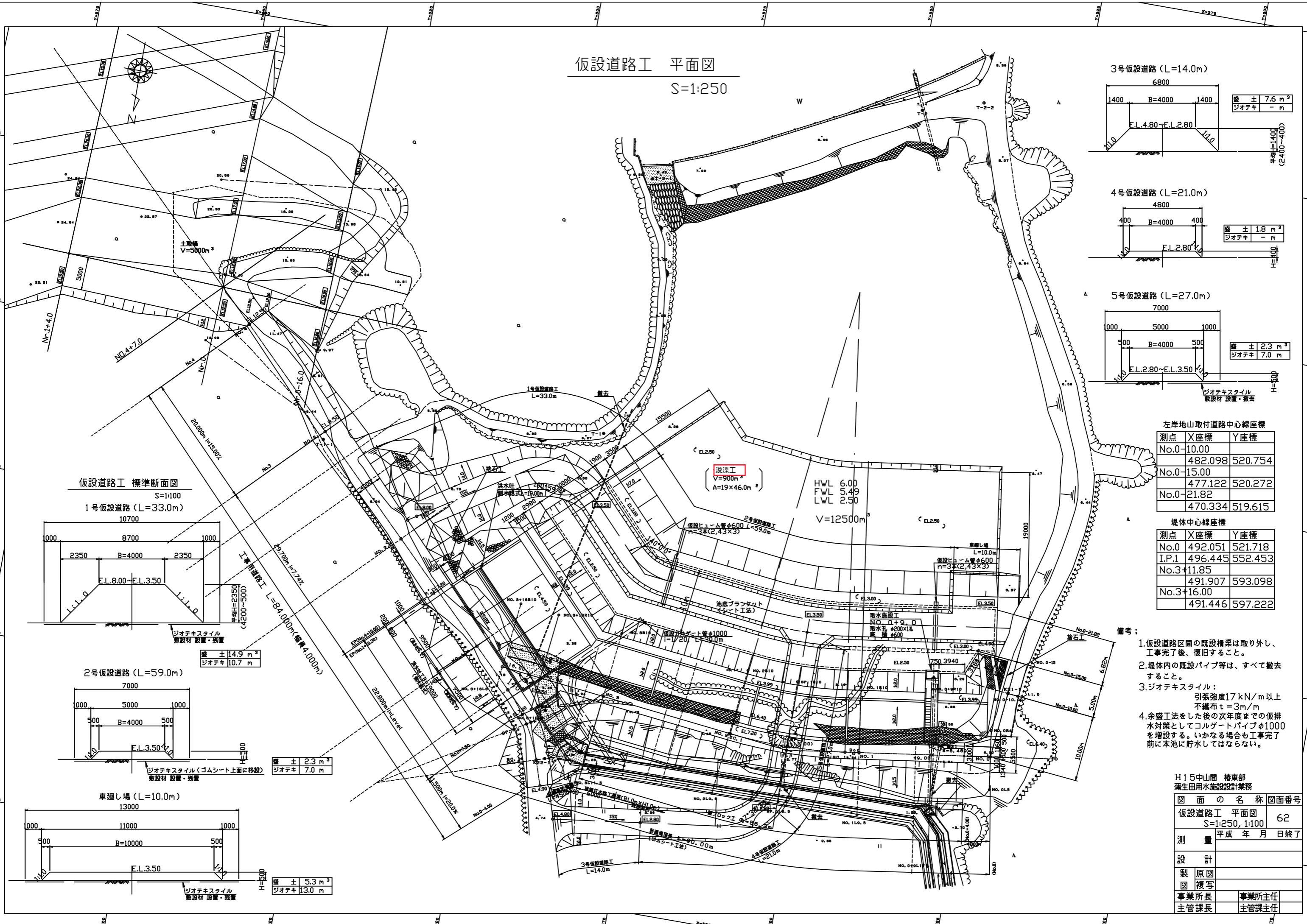


測点 No.3+19.30		名称	単位	数量	備考
切	土	切土	m <sup>2</sup>	34.7	
		切土	m <sup>2</sup>	-	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	3.1	FWL 5.49 未満
		切土	m <sup>2</sup>	-	FWL 5.49 未満
切	土	切土	m <sup>2</sup>	-	FWL 5.49 以上
		切土	m <sup>2</sup>	3.9	FWL 5.49 以上
切	土	切土	m	-	-
		切土	m	3.9	FWL 5.49 以上
切	土	切土	m <sup>2</sup>	-	-
		切土	m <sup>2</sup>	23.8	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	3.0	-
		切土	m <sup>2</sup>	4.3	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	1.7	-
		切土	m <sup>2</sup>	-	-
切	土	切土	m	-	-
		切土	m	4.6	-
切	土	切土	m <sup>2</sup>	10.0	-
		切土	m <sup>2</sup>	-	-

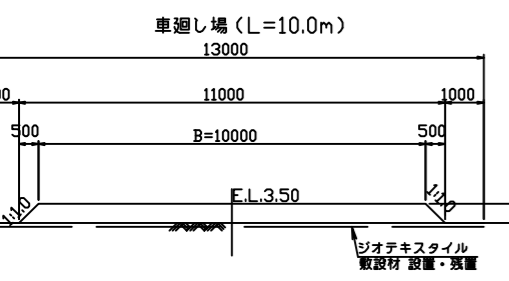
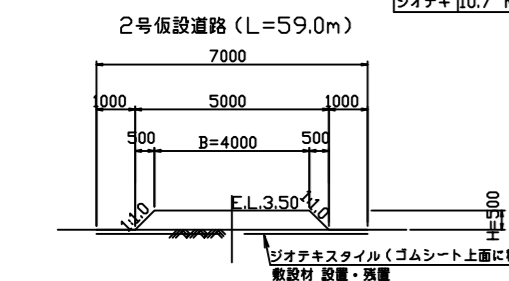
測点 kNo.0+10.00		名称	単位	数量
①	切土	m <sup>2</sup>	0.6	
②	切土	m <sup>2</sup>	-	
③	切土	m <sup>2</sup>	-	
④	切土	m <sup>2</sup>	-	
⑤	切土	m <sup>2</sup>	15.8	
⑥	切土	m <sup>2</sup>	12.6	
⑦	切土	m <sup>2</sup>	-	
⑧	切土	m	-	
⑨	切土	m	8.0	
⑩	切土	m	0.3	
⑪	切土	m	0.8	
⑫	切土	m <sup>2</sup>	4.0	
⑬	切土	m <sup>2</sup>	-	
⑭	切土	m <sup>2</sup>	2.2	
⑮	切土	m	-	
⑯	切土	m	-	
⑰	切土	m	-	

図面の名称		図面番号
洪水吐土工図(覆換土)(1/2)		82
縮尺 S=1:100		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図		
図録		

仮設道路工 平面図  
S=1:250



仮設道路工 標準断面図  
S=1:100



左岸地山取付道路中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0-10.00	482.098	520.754
No.0-15.00	477.122	520.272
No.0-21.82	470.334	519.615

堤体中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0	492.051	521.718
I.P.1	496.445	552.453
No.3+11.85	491.907	593.098
No.3+16.00	491.446	597.222

- 備考:
1. 仮設道路区間の既設構渠は取り外し、工事完了後、復旧すること。
  2. 堤体内の既設パイプ等は、すべて撤去すること。
  3. ジオテキスタイル:  
引張強度17 kN/m以上  
不織布 t=3m/m
  4. 余盛工法をした後の次年度までの仮排水対策としてコルゲートパイプφ1000を増設する。いかなる場合も工事完了前に本池に貯水してはならない。

H15中山間 橋東部  
蒲生田用水施設設計業務

図面の名称	図面番号
仮設道路工 平面図 S=1:250, 1:100	62
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任